

7. 手摺の金札取り付けについて

手摺の金札は、地面側根元に取り付けてください。笠木や縦棧に金札を取り付けると、めっき浴からの引き上げ時に擦れ傷が発生する原因になります。

また、正しい方法で取り付けしない場合、槽に落下して紛失してしまいます。

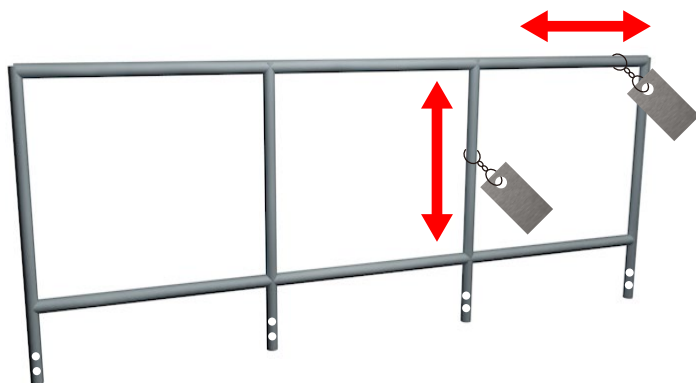
その場合、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。

良い金札の取り付け例

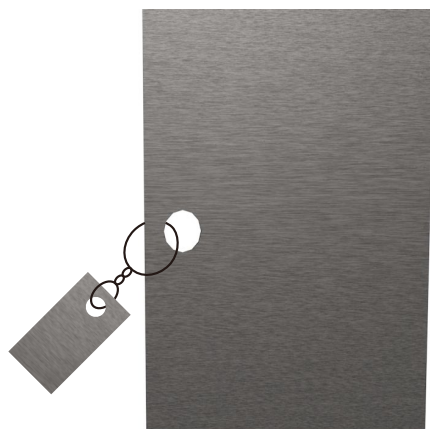


地面側のジョイント部に金札を取り付けると、めっき引き上げ時に製品に金札がつかず、綺麗な外観のめっきができます。

悪い金札の取り付け例



笠木や縦棧に金札を取り付けると、めっき引き上げ時に金札の鉄線(番線)がずれ動き、擦れ傷が発生し、外観が悪くなります。



金札用の鉄線は1.2mm以上(16番線以上)の太さを用いてください。

金札を取り付ける鉄線が適切にねじられていますと、製品と金札の間に隙間が出来ます。この隙間が金札と製品の付着を予防します。

金札側で1回ねじってから製品側で大きめの輪を作り、ゆとりを持たせて取り付けてください。